

白石市学力向上プロジェクトの取り組み



白石第一小学校 英語学習の取り組み

白石第一小学校では、英語による聞くことや話すことなどの活動を通して、児童のコミュニケーション能力を育成したり、外国語に慣れ親しんだりすることを目指し、3・4年生は年間35時間、5・6年生は年間70時間の外国語活動・外国語科の学習を行っています。また、1・2年生も白石市が進める英語特区「しろいしイングリッシュ」を受け、年間12時間の外国語活動の学習を行っています。指導は、大鷹沢小学校と兼務

の英語専科教員とALTが、「外国語教室」で行います。授業では、英語であいさつした後に、英語の音声やリズムに慣れ親しむために英語の歌やチャンツに取り組みます。その後、英語に関連したゲームやクイズなどを楽しく行っていきます。どの学年の児童も、英語専科教員の専門的な指導とALTのネイティブな発音を聞くことなどにより、英語についての聞く力や話す力、コミュニケーション能力などが育ってきています。



▲外国語教室廊下には外国語学習の成果を掲示



▲英語に関連したゲームやクイズなどで話し合いをする児童



▲英語専科教員とALTによる外国語授業

☎学校管理課 ☎22-1342

東中学校 自分の考えをさまざまな方法で表現する活動

東中学校では、授業の中で、生徒が自分の考えをしっかりと書くということを大切にしています。生徒は示された学習課題に対して自分はどう考えたのかをノートやワークシートにまとめていきます。

学習課題によっては、言葉による説明だけでは自分の考えを表現しにくいこともあります。授業では、さまざまな方法で生徒たちが自分の考えを示すことができるよう学習活動を進めています。

タブレット端末を利用した授業では、図やイラストを用いながら、自分の考えを見える形にしていきます。また、美術での作品の構想を練る授業では、実際に自分の手を観察しながらイメージを膨らませ、自分のイメージを他人に説明することでアイデアを広げることができました。示された学習課題に合わせた活動に取り組むことで、生徒たちは自分の考えを豊かに表現する力を高めています。



▲自分の作品のイメージをお互いに伝え合いました



▲考えを形にするためにタブレット端末を利用しました



▲作品の構想について自分の考えを書き込む様子

くらしのなかの 水道・下水道

～古くなった水道管とマンホール蓋の更新について～

☎上下水道事業所 ☎25-5522

2カ月に1回、水道と下水道のしくみや事業についてお知らせしています。今回は、古くなった水道管とマンホール蓋の更新について、Dr. すいどーとスイスイが教えてくれます。

①

日本水道協会 マスコットキャラクター「Dr. すいどー」

水道管が安全に使えるのは約40年とされているから、定期的に新しい水道管に更新する必要があるんだ。

②

水道管が古くなると、いろいろなところで漏水が発生するよ。太い水道管から漏水すると、大規模な断水や道路の陥没が発生することもあるんだ。

漏水発生箇所

キケン!

▲漏水発生状況

③

上下水道事業所では、令和3年3月に作成した「白石市水道ビジョン」を基に古くなった水道管を更新する工事を計画的に行っているよ。今後の更新工事予定箇所は右の図で確認してね。

▲水道管更新予定箇所

④

僕からはマンホール蓋の更新工事についてお知らせするよ。下水道用のマンホール蓋は市内に約6,800個あって、標準耐用年数を超えているものもあるんだ。

日本水道協会 マスコットキャラクター「スイスイ」

▲更新前

⑤

写真のように上下水道事業所では、1985年以前に設置したロック機能がない蓋から優先的に安全性能を持つ蓋へ更新しているよ。

▲更新後

⑥

工事中は大変ご不便をおかけしますが、皆さんに安全・安心に生活していただくために更新工事を進めています。今後ともご理解とご協力をお願いします。

▲上下水道事業所職員と緊急車両